

松原葉子（富山県在住）

人工呼吸器と電動車いすが必須アイテムの、足踏み式のリードオルガン奏者です。難病（筋ジストロフィー）の進行により呼吸不全で倒れて以来、長期入院生活9年目。コロナ禍以降、外出が叶わず病棟の箱入りムスメ状態ですが、分身ロボットOriHimeを通して、病室からあちこちへ飛び回り、人と社会とつながり続けています！

<https://www.thousands-miles.com/trend/9327/>

リードオルガン奏者としては、ワオンレコードよりCDを2枚リリースしています。

<https://www.officearches.com/artist/yoko-matsubara/>

<https://waonrecords.jp/waoncd200.html>

<https://waonrecords.jp/waoncd250.html>

病棟のデイルームに私物のリードオルガンを置かせていただき、体調がよければほぼ毎日、朝食後、まだ病棟が静かなうちに少し音色を奏でています。

今年公開されました映画「風琴（ふうきん）～あるリードオルガン修復家のあしあと～」に推薦のことばを寄せております。

<https://fukin.koberecs.com/#Voice>

患者仲間やスタッフたちとともに生きる日々、いのちに優劣はなく、誰もが等しく、尊い存在であることを受け取り続けています。同時に、あらゆる社会問題の根っこに人権意識の欠如がある現実も知らされます。こうした日常から障害当事者として、国連の機関をはじめ世界39カ国で推進されている「障害平等研修（Disability Equality Training: DET）」の活動も病室から行っています。

障害平等研修フォーラム 認定（A）ファシリテーター

https://detforum.org/?page_id=1913

病室も社会の一部！

その視座から、みんなのいのちが輝くために何をすべきなのか、日々、模索し続けています。